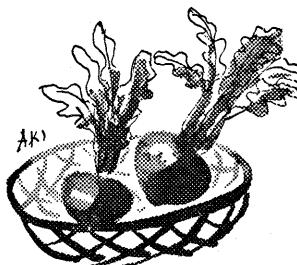


## アンケート

小林 操 原 春子  
土屋 真砂子 都伊子  
川崎 千東 木正子  
(御意見を伺つて) 堀合文子

# 三年保育の経験と観察



### 小林 操

廿一年度は全般的な現象として幼児数激減のため、本園では三歳児をも収容することになりましたものの、三歳児の教育にふさわしい設備を持たないこと、三歳児がどの程度のものか私には、しっかりつかめなかつたことで、今後どのようにして指導していくからいいかまよつてしまつましたが、一応迎える準備として、次のような心構えを用意しました。

この半年間、はじめての経験として、私は満三歳児と生活を共にしてきましたが、入園式を迎えて、次々に母親に手をひかれて登園してきた子供達をみたときは、希望と不安が一時に到来し、今後の指導はどうしたらいいだらうかと、そのむずかしさを痛感いたしました。出来るだけ他からの抑圧を少くし、その場、その場に応じて、具体的な指導をし、それを教師ともども反覆するという方針を樹て一方また集団生活には未だ特に未経験な時期であるので幼児が幼稚園という意識に固くならず、家庭の延長として、たのしく生活が出来るよう環境整備に努力することを目標と

いたしました。

戸外遊びの際は小学校と同じ校庭を使用するので特に小学生の抑圧を受けていないように注意して、三歳児独特の遊びがのびのびと出来るように心がけました。

入園当初は、他の子供が遊んでいることに関心を持たずただ傍観しているだけで、それを真似ようとしたり、仲間に入ろうとはせず、自分勝手に好きなことをしているといふ

ことがおおかつたのに、五月初めごろには砂場などで他の子供が遊んでいるとその中に入って、他人に無関係にではあるが、バケツ

に一杯砂を入れたり、水をくんだり池にしてみたりする場面がみうけられるようになります。第一学期の終りに近いころには、お友達と遊ぶことがおもしろくなり、自然と皆に引きずられて楽しそうに遊べるようになってきました。

観察記録の中から、一、二の例をあげてみましょう。

○一人で積木が片づけられるまでにレコードがなりはじめるとSちゃんはいつものように椅子をもって前に集まつてくる。

あとには机上積木が縦横無尽に散らばってい

「面白いわねえ、Hちゃん」

するとHちゃんの手が私の顔の前へとんで

きたが、Hちゃんのほほには、ほんのかすか

だが、ほほえみの影がただよつたようにみえ

た。

好調だ、この機会をのがさず今日こそ仲間に入れてやろうと思い、

「Hちゃん、さあ、いらっしゃい」と声をか

けると今度はすぐにとび出してきた。

Hちゃんはどうしてもスキップをしない子

供だった、よく活動するけれど、スキップだけはどうしてもしなかったので到底ダメかと思つていたのが……

リズムにのつて、思わず他の子供達の口

からは「あつHちゃんが」とおどろきの声が

もれて了つた。

入園当初は、当然のことながら自己中心的でかなりの非社会性をもつていて、集団の成員になり得るのも一二、三人位であったのが、

半年後の今は遊びも単独遊びより団体的、

協同的遊びに移り、自分達で遊びを工夫し、

従つて生活も豊かになつたようと思われ

ます。

「積木を片附けてから集まりましょうね」  
「あとでね、しょこにおいててね」といつて呼ぶとふりかえつてみる。

「積木を片附けてから集まりましょうね」

「うごかない。

「お約束したでしょう、あとでじゃなくて、

片附けてからよ」

「さあ、お片附けてきるのね」

Sちゃんは仕方なしに積木を箱の中に、ぽんぽんほうり投げました。

「さあ、お片附けてきるのね」

Sちゃんは仕方なしに積木を箱の中に、ぽんぽんほうり投げました。

数日同じことをくりかえしての或る日、

Sちゃんは、だまって片づけはじめた、け

れどそれは、いやいやでなく、

散らばってるものはどんどんなくなつてゆ

き、今度は箱の中にきれいにつみかさねられ

るようになりました。

○はじめてのスキップ

ただ一人でみんなのすることを見ていた、

こんなことは、初めて、この機会をのがし

てはと思い、さうそくそばへよつて、

以上ふりかえってみますと、新しい生活へ

して、三歳児を園外保育等につれて行って見

(東京・日本橋城東幼稚園)

とけ込んでゆく過程では、四歳児以上の幼児の場合と大差のない実態が見出されます。

この時期に於ける一年間の差と、いうものは指導上相当考慮すべき面があるようです。

この差を急激に縮めようとすると、弊害が伴うことであり、指導者は根気よく出来るだけ具体的な場面をとらえて、自然に慣れさせるということが大事なことのように思われます。

先ず他からの抑圧を出来る丈排除して楽な氣持で新しい生活に入り得るような状態に配慮することですが、それには、あく迄も家庭の延長というような気持で通園の出来るよう

度の人数で、一人一人の指導に十分の考慮が払われるような状態にしておくことである。

教師の側としては、決して無理な要求をせず成長を見守りながら、あくまでもそれに即応して指導してゆくという態度が必要と思われます。

第一には三歳児に対する教育計画——カリキュラム——の研究と用意をすることである。三歳児と四歳児とを同じ計画で教育するには、この一年の差は到底指導が不可能であると思われる程大きいのである。今後各園で



AKI

### △三歳児保育礼讃

#### 土屋真砂子

三才児の指導に当つて、特に重要な条件としては、まず第一に一人の指導者に二十名程度の延長というような気持で通園の出来るよう

度の人数で、一人一人の指導に十分の考慮が払われるような状態にしておくことである。

第二には三歳児に対する教育計画——カリキュラム——の研究と用意をすることである。三歳児と四歳児とを同じ計画で教育するには、この一年の差は到底指導が不可能であると思われる程大きいのである。今後各園で

依るのでなく、実際の場に於て具体的な事柄によって指導を反覆するということが最も効果的な方法であると痛感しております。

しかしながら母親や、家族の者の附添いな

く別人のように、自主的に、自分の身辺を処理し、乗物等にも、人の力を借りないで乗り降りができる、いじらしい程自分を処理していく力を持っていることに驚かされます。

一学期間位は三歳児を園生活に慣らすために指導者は随分手がかかり、骨が折れます。二学期頃になって園の生活に慣れて来れば、指導を受ける態勢も徐々に身について来るようと思われる。

そして特に三歳児に対しては、理屈や説明の乏しい経験から上記の二点について十分の用意がなされなくてはならないと思われます。

そして特に三歳児に対しては、理屈や説明の乏しい経験から上記の二点について十分の用意がなされなくてはならないと思われます。

十分であるが、早く集団生活の中にに入った方がこの子にとって真に幸福であるという教育的な信念の下に入園させるものが多く、「ざいます。早期入園の理由を分類してみますと、発育が順調で集団生活の適応期が来たから、遊び友達がないから、近隣環境が悪いから、大人ばかりの中で子供らしさを失うから、祝父母を中心し溺愛に流され易いから、兄姉の経験から三年保育を理想と思う等であって、幼稚園を早く入れると、集団の束縛が重荷になって可哀相だとか、何かと覚え過ぎておませになるとか、人の真似をして見栄のために入園させるとか、入学後の成績の優秀を期待するとかいうような普的な考え方ではなく、三歳児としての心身の発達段階に適した幼稚園生活そのものが、子供の成長の基盤として真に大切であり幸福な経験であるという熱意に燃えた見解をもつてているということは保育者にとってまことに有り難く百万の味方であります。

三歳児は純真素朴な個性を惜しみなく發揮する。そして速やかに安全感にみちみちた集団のふところに入ることが出来る。

か、こわいとか、或はわがまま強情さ、家庭のおしつけや要求から、なかなか生地のままの性格を發揮するまでに手まどるものもありますが、三歳児にあっては至つて淡白、家庭の急場仕込みの教えごとは何の効目もなく何ごとも赤裸々に行動するので、潑刺とした個性を速やかに明白につかむことが出来ます。

入園の当初附添人から離れないで泣きわめく何人かの子供にあの手この手の技術で悩むことはどちらの園でも経験すること思います、こんな場合にも年長児は何も彼も承知していく強情にわからずやを發揮するので、納得させるにもだますにも手まどるものですが、三歳児の場合には至つて幼稚で単純、親から離してしまえばけりりとして先生の膝に胸に抱かれてまいります。今年もS君は先生に抱っこしながら人形を抱いて「泣いちやだめよ、ままちゃんが老人と附添人室で待つてまちゅあらね」と自分がされたとおりにして人形に自らを求めていた愛らしさ、またN子ちゃんは自分が馴れて泣きやむと、一足おくれた自分より体の大きいしかも男の子の手を引いて「泣いちや駄目」ちゃんがいんこうみせあげるわ」「ほらお鼻をかんで上げるわ」

「お靴をはかしてあげるわ」と自分の涙をおさえてのお姉様ぶりの中に、はじめて一しおなったお友達と極めて自然に可愛い社会性を育てていました。之はほんの一例に過ぎませんが、このように母と子兄弟姉妹に流れるような家庭的な和やかな愛情のつながりを基盤として三歳児の集団生活の営みが始められるわけでございます。

三年間の保育の発展は個々の成熟度に応じ子供達の力で無理なく力強く成長する。

保育年数が短いと母親達は就学を前にとかく子供達に過重な期待をかけるあせりをもつ危険性があるし、子供の側から申せば幼稚園生活が切角身について愈々集団の興味に油がのって来た頃には修了となり、また先生の側から申せば各自の個性をすっかりつかんで之から本格的な教育をという時にお別れしなければなりません、ところが三歳児にあってはまだまだ前途遼遠、何とかなるだらうといふ氣楽な親心に先生も子供も極めて悠々と第一年目の特徴、集団的な交友が出来たり、遊びが交流したり、協同的だつたりするわけではないが、集団の中にあるという楽しさを、何もしないでもただ嬉しくて嬉しくてたまらない

い気持ちで自由に味わうことが出来ます。第二年目には幼稚園生活が身について自由に羽ばたける喜びにあふれ、幼稚園中のいたずらを一身に引きうける程の活躍ぶりで子供らしさの世界を満喫することができます。第三年目にはお兄様お姉様のリーダークラスとしての自覚も出来、すべてに自発的に、創造的に、協同的に、実に線の太い力強さをもつたおちついた迫力のある生活が営めるようになります。

三歳児組は全園の和やかな雰囲気の泉である。三歳児の教育には特に豊かな環境の考慮と行届いたケヤーを必要とする。

三歳児と四歳児との心身の発達に格段の差のあることは既に科学的に立証されていることであります、従つてその教育施設に方法に特別の研究が必要であることは当然であります。三歳児教育を礼讃しながらそれを全うしていないことは實に恥づかしいことですが、只今は三十六畳の和室に二十五名を収容し、年令相応の豊富な玩具の準備に努め、子供達が好きな遊びが何時でも自由に出来るように、適度の休息が隨時に出来るように、自己の身のまわりを処理する習慣が円滑に行われ

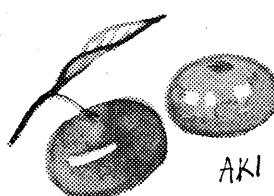
るよう努め常に心身の診療に留意しています。音楽、絵画製作、リズム遊び等の保育内容は、組の交流を自由にして年長組のを觀る特長を持っていました。私はそれに就いて深くこれを楽しむ生活や、先生と一緒に遊ぶ生活を主とし、その中に芽生える自発性参加性を大いに尊重し、その機会を捕捉して先生の目的コースに誘導していくより遠浅式なりキュラム運営につとめております。

(千葉県・日の出学園幼稚園)

六人の三歳児のうち、一番年少(三歳三ヶ月)でありIQも一〇〇、家庭条件も“普通”といわれるS子を選んで、その活動の数場面をうつしながら私の心の影について考えていただこうと思います。

その前に、その頃の保育形態を記すのが順序のようです。

五歳、四歳、三歳、いり混つての一クラス編成の上に幼稚園の創立という条件下で、私は出来るだけ保育が課業的な形態にならないようにと心がけました。カリキュラムはあっても、子どものその日の遊びにピントを合わせて保育の主題を持ってゆくようにして、遊びのびと自由遊びが楽しめる雰囲気をつくろうと配慮しました。その為か六名とも何の抵抗もなくスルスルと幼稚園生活に入りこむ事が出来ました。この安易さが教師の気をよくしたものか、いいえそれよりも前述のような



川崎千東

あの頃の保育形態は、あれでよかったです。しかし……私の胸を去来する影があります。その影とは——この園の創立当初に、四五歳児に交えて六名の三歳児を保育したこと——

保育形態をとる場合、教師側に豊かな愛情と、強い信念と、すぐれた技術が必要だったのでしょう。私はいつの間にか四五歳児に焦点をおいて課業的な保育形態をとっているのでした。何故そう変っていったのか？

要するに私が前述の三条件のいずれにも欠けていたことは明白で、強いて云えば次の事も誘因となっていたのでしょう。

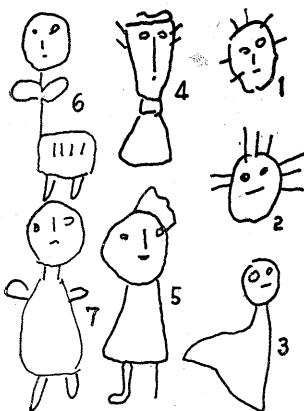
この年のことでも達は入園児に、一二三を除いては体位が平均より劣っていましたので、牛乳を午前十時に一斉に飲ませる事にしました。この一斉ということが慣性になつて次の活動をも一斉にし勝ちになりました。

X X X

「またSちゃんがない」

皆が保育室に入つて、鉛でクレヨンで何かをつくり出そうとしている時、S子はきまつて保育室外に脱走してしまう。大抵の場合まことに道具を一人占めして悦に入っている。

私はそれを見逃さうとするのだけれど、子ども同志では物議をかもす。  
「お水入れちゃいけないんでしょ。いくらいつも入れちゃうんですよ。」「おままで」と、ちっとも片付けとかないの」



「クレヨンだって、しまわないよ」

人物画は前のように進歩のあとを示してい

る。

導くのが大切な事だったと氣付いて、保育室に連れ戻そうと試みるが、頑として承知しない。第一反抗期だからであろう。

粘土いじりと、自由画は好きらしい。

粘土では蛇専門、自由画は人物が専らである。残されたこの児の画帳を見ると、No.1とあるのは一冊十六枚すべてがクレヨンのなぐり書きである。No.2の画帳から数枚、なぐり書きのともなった人物画が出てくる。この児

「先生、バスに乗つて見に行つた葉っぱがお孫並木を見に行つたことがあるので。排尿の自立は出来ているのだけれどもしばしばそぞうを繰り返す。幼稚園常備のパンツはS子の専有物になった。十一月末の寒い日洗つた長ズボンが乾かないで、大急ぎで職員室のヒーターで乾かしているところへM子があらわれて『どうしたの』とたずねたのに、

「お湯よ、お湯こぼしたんだもん、ねえ先生」

教師がいつも『お湯をこぼしたのよ』と云

いからばうからだろうか。

M子とはいつもはげしい喧嘩をする。同じ

言葉はチ音化の上に音節の省略があるので耳馴れないと意味を汲みとる事もむずかしい。

い。

それでも自身は一人前を自負していて、

「Kちゃんは（四歳男児）は私の事、遊んであげるっていうだもの、私がお母さんなのにさ。」（チ音化を訂正して記す）

これは公孫樹の葉。バスに乗つて見つばがおちてる。おちてる」

の画帳は殆ど人物画で埋められている。女兒に珍しくチューリップ病にかかるつていなから、積極性もあり、新鮮味もそなえているのだろう。

「お湯よ、お湯こぼしたんだもん、ねえ先生」教師がいつも『お湯をこぼしたのよ』と云いからばうからだろうか。

三歳児で家も近所であって、お互に知りすぎているせいもあるうが嫉妬もなかなか盛んである。

× × ×

限られた紙数がきてしました。S子の記述もこの辺でカットして、私の至らない保育ぶりについていろいろ御意見のある事と思います。私は私なりに、影をかえりみて次のように考えて居ります。

1 三歳児は、現存のような四五歳児対象の保育室での保育は不向きでしょ、もっと「休息の場」を考えねばならないでしょ。

2 十時には軽いお、時の必要もあるようです

3 三歳児だけの小グループで保育すべきであるのは論をまたないでしょ。

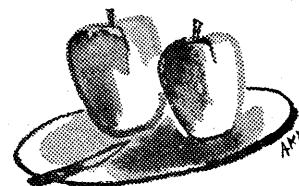
4 自我の意識の芽生えの事期であり、反抗期でもある事を常に考慮にいれるべきでしょ

5 5どんな場合でも教えるという形式はさけるべきでしょが基本的習慣や良習慣形成には

6 三歳は尤もよき年令であろうと考えます。6そして何よりも、和やかで愛情にみちた雰囲気に包んで安定感を与える事が大切であります。

(東京・家政大学附属みどりヶ丘幼稚園)

### 原田春子



い者も数名居ますので、三歳児達が特に、かけ離れてやりにくいとゆうこともなく一学期を過しました。この間、四歳児の小さい者も含めて年少児の特色と云うようなものが観察されましたので私の感じたままを記してみます。

入園当初に見られる堅くるしさやよそゆきの気持は年長児に多く、年少児にはこのような緊張感は少ないようですが、新しい環境に対する不安定感は小さい者に強く見られました一寸変った事があると心配で落付きがなくなり、幾度も同じことをきいたり念をおしたいたまらないというようすです。

私の園では今まで三歳児の保育は行つておりませんでしたが、今春入園希望の三歳児が四名あり、園としても来年からは三年保育も行いたいと考えおりましたので試験的にこの四名を入園させました。三歳児と云つても二名は四月生れで発育もよく四歳児と変わらぬくらいですが、他の二名は十二月生れで、身体の格好と云い動作といい、まだ赤ちゃんらしさを脱け切らない子供です。この四名は四歳児約三十名のクラスと一緒に入れました

が、今年の四歳児は生れ月の遅い者が多く、十二月以降生れの者からクラスの六割を占めて座ったり、友達のあとについて遊具を次々

と回って見たりで、自主的な行動というものが見られませんでしたが園の生活に安定感をもつてきました一学期の終り頃には大体の子供が積極的に遊びに参加するようになり、遊びの持続時間も長くなって、保育計画の予定も変更することがしばしばありました。

一カラーやのうち、ボスター、カラーを最も好みます。筆にたっぷり含ませて太い線を思い切って引いたり、色々な色彩で画面を塗りつぶしたりしているようすは実に楽しそうで、私共が昔小学校高学年ではじめて絵筆を持った時の臆病な気持とは全くちがった大胆さで遊んでいます。

やリズムに合わせて動くことなどは皆が大好きで、人前でうたう事も年長児より平気です。まだ音程やテンポを正確にうたう事はむずかしいようですが、うまくなくてもよろこんで臆せずに歌う態度をこのまま伸ばしたいと思います。又近頃のように子供の周囲に俗悪な音楽が絶えず流されている時、少しでも小さいうちによい環境の中におき、美しいもの、健全なものに親しませる事は何より必要と思思います。

話し言葉は、最年少の二名が幾ヶ発音不完全ですが、赤ちゃん言葉ではなく、年長児によるものと思われます。生活発表など断片的ながら年長児よりも恥かしがらずにします。人の話を聞く事にはまだ短時間しか注意を集中できず、紙芝居も普通の十二枚物は（物語をかんたんにしても）長過ぎるようすです。三歳児向にはごく単純な筋の、語数の少ないもの、紙数も五六枚のものをゆっくり読んできかせるのがよいと思います。

絵画は三歳児中二名（最少兒二名）が意図的なものを描きますが他は（四歳児數名も）錯画です。描き度い時に自由に描いた絵は非常に生き生きして居り、一齊に描かせますと無気力なものしか描けないことが多く、大勢に同時に描き度い意慾を起させる事はむずかしいと思いました。クレヨン、指繪、ボスター

又自信がなくて投げ出したりする傾向も見えますが、年少児は結果の如何を気にせず製作の過程を楽しみ満足していますので、この気持を持ちつづけ自信を強めて行くように指導することを心がけております。

集団のきまりを守ることははじめは年少児にならぬか納得がいかないもののようにでした。自分本意に勝手な行動をとるので、友達から攻撃されたり、けんかになつたりで、自分も不愉快な思いをする事を幾度も経験するうち、ようやくきまりを守ることの必要さがわかつてきました。

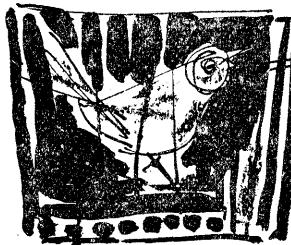
以上私の貴しい経験から学びましたことを述べた次第ですが、年少児を保育して特に感じましたのは出来る限り一斉保育を避けて自由保育をするのが望ましいということです。心身の発達の差が多く、心の動き、興味の持ち方、疲労度など一人一人のちがいの大きいこの年令の子供達を一斉に扱っては無理を強

— 25 —

いることが多くなり、伸びかけた自主性の芽を萎縮させてしまします。

又なんと云つてもまだ幼い子供達です。集団の生活に、不安や怖れや不満をもつことのないよう、お母さんの手から抱きとるようないたわりのこころで迎え入れ、教えるというよりは見守り育てるという気持で保育する」とが必要だと思ひます。

(東京・柏木幼稚園)



在。ほんと標準以上に発育したかわいらしい子供達であった。保育室は四歳児二十三名と同室。その一隅を三歳児の机の場所とし席は定てなかった。

三歳児は頭の大きいのが目立ち總ての行動がたどたどしく運動機能が発達していない事、この点ですぐに四歳児との區別がついた。入園式の日母親に手を引かれうれしそうに帰る三歳児を見送りながら「どうかよろこんで毎日遊びに来てくれるよう」、そして私と仲よくなつてお母さんのように思つてくれればよいが、早くお友達をさがしてあげようなどと考えていた。私はその願いをそのまま一学期の目標としたのであった。

翌日からの三歳児との生活は予想に反し大部分の子供が積極的に上靴のままでとび出し恐れ気もなくスベリ台やシャングルの上にのぼる、ままごと道具に水を入れる、お帳面とクレヨンを持出してところかまわず描く、出しつぱなしのまま積木を始める、オルガンをブームーやって見る等で私のスカートにばかりつかまっている子供など一人も無く、何た。男児三名女児七名、うち商店の子供男児二名女児一名アパート住まい女児一名他の六名は恵まれた家庭環境の子供。両親は全部健

## 阿部伊津子

るのかと幼い姿を追つてとび歩く始末だった。それに比べて四歳児はお友達や先生に対する遠慮から思う様に動けず、黙つて椅子に坐つたままの子供が大勢あつたのは面白い現象だった。こうして三歳児にとってなす事総て新しい楽しい一週間が過ぎ、この間に私と交わした会話は「お水飲みたい。お人形おんぶするの。靴がないの。おしつこ。等必要に迫られたの發言のみであった。子供同志ではままごとの場で二、三の女兒が簡単な言葉を交わしていた外は見られず、遊びはてんでに好きな事をし、持続時間は五分以内位で、お友達が側によつて来ると止めてほかの遊びに移つて行くという風であった。

二週目、三週目と三歳児は元気いっぱい遊びピアノを弾けばとんで来て、スキップの出来ないものかまわずにとびはね、その両手で体の調子をとるようにしてはねる不安定な様子は三歳児独特のもので、四歳児には見られない動作だった。鉢も進んで持ちたがり一名の男児を除いては全部が画用紙を切る事が出来た。(折紙程度のうすさはむずかしい)こんな風で、三歳児の机の上は、切りきざんだ紙、なぐり書きをした新聞紙や包み紙、出しつぱ

なしの鉛やクレヨンでいつもこつたがえして  
いる有様であった。お友達同志とも次第に会  
話を交わす様になり、玩具やブランコの取合  
い等からけんかも起る一方、同室の四歳児別  
室の五歳児とも仲よくなり、可愛がられ、五  
月に入ってからはお弁当で疲れを回復した午  
後の一時を、大積木のお家、椅子を並べた汽  
車ごっこ、木陰のおままごと等に大きい組の  
お友達といり交じって夢中で遊んでいる小さ  
な十人の姿をじっと眺める静かな時間を持つ  
事が出来るようになった。私はよろこびつつ  
も、こうはりきったのでは疲れてしまいはし  
ないかと心配して、休息をとる事に注意し、  
四・五歳児より一足早く帰るようになした。こ  
の頃には用便の世話はほとんどいらなかつた  
がお弁当靴のぬぎはきと始末、お道具箱玩具  
の後始末には四歳児より大分手がかかるつた。  
とにかく元気いっぱい遊び、試み、よい  
子になろうと努力している事がその小さい体  
にあふれ、今思い出すと何かいじらしい感じ  
のするあの頃であった。

五月下旬頃から朝母親と離れられず、ひと  
さわぎする様な子供が三、四人現われはじめ  
他の子供も疲れ氣味となり、お友達がいじめ

るからと登園を渋る子供も出て來た。もう自  
分で出来るようになった筈の身の回りの仕事  
を面倒がつたり甘えたりしてしないような事  
(組といいうものの理解が大分出来てきた)一  
番小さいんだという甘えた氣持を持ちはじめ  
たかにも見えた。そして今までの緊張は次第  
にほどけて私のいう事をきかなくなつたり甘  
えたりするようになり、三人の男児は次第に  
皆と一緒に行動が出来なくなり、ある時は三  
人揃って、又は一人一人勝手な事をして私を  
困らせた。こうして緊張の後の疲労や一応幼  
稚園の生活がわかつて珍らしさがなくなつて  
来た暑いこの時期をやや混乱状態で送つたの  
であったが、私はやつと皆の本当の姿に接し  
得たのであつた。これに反し四歳児は集団生  
活に馴れお友達との遊びも日々に発展しごん  
ぐん三歳児をリードして行つた。

其の後七月に入つて涼しい短縮保育を迎えると共に三児も調子を取りもどし一息ついた  
1 三歳児だけのおちついた時間を持つ事  
時には夏休みがやつて来ていたのであつた。  
3 自由遊びの場合にも三歳児だけの自由遊び  
の時間を持つ事——対等な相手と遊ぶ事の  
重用さを考え

3 用便が一人で出来後の手洗いを忘れない。

4 食事のしつけがよい。

5 動作が機敏になり特に足がしつかりした。

6 口のきき方がはつきりし言葉をおぼえた。

7 帰宅後すねる癖がついた。

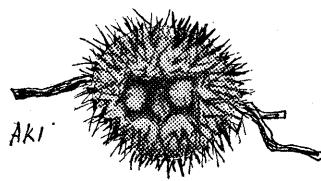
8 男児の言葉をまね乱暴になった。

9 家人に口ごたえし云う事をきかなくなつた。

10 弟妹をいじめる(しかしたわるようにも  
なつた)。

水疱瘡の為長欠した一名の女兒を除いては非常によかった事をつけ加えておく。

(東京・阿部幼稚園)



元末正子

歳児を受持ちましたのは今年四月より一学期間の未熟な経験しか持って居りませんので、特に感じました二三の事について記して見ようと思います。私共の園では以前より三歳児を数名位づつ年少組と一緒に保育しておりますが、一組出来ましたのは今年で四年目に当たります。園児全體から見た三歳児は心身共に幼なくてすべての動作が可愛らしく、子供達同志も非常に親切にして遊んでいる様子で

した。今迄五歳児の組を多く持ちましたので、三歳児を持つと云ふ事となると、五歳児とは違つ心の準備が必要だと思いました。入園当初は、保育室に入る迄が仲々大変で十八名のお子さんの顔が揃つ事は、スムースには行きませんでした。男児八名、女児十名の組ですが、泣くお子さんは、男の方が多い様でした。こちらが待ち受けていて、かえつて具合が悪かつたり、知らん顔をし乍ら神経を配つておりました。お母様方の理解もあって、少々の無理をしても、根気よくお連れ下さる方があるので、私も、半日の間、お母様とお家を思い出さない様に、話す言葉にも気を付け、早く馴れる様に努力しました。大ていの子さんは、話しかけられる事が嬉しいのに、中にはかえつて迷惑想な顔をするので、時間をかけて、待つているより仕がないと思うお子さんもありました。保育室内での遊びは、始めお客様に行つた様に、おとなしく、眺めていたりする丈で積極的に遊ばないので、色々と遊び道具を用意して一緒に遊びました。園での約束事も、くり返す毎に出来様になり、御挨拶とか、手を洗う事とかは、お母様方にも喜んで頂けました。幼稚園

いう集団生活が家では実行出来ない事が容易に出来ると感じました。おべん当を持って来る頃になると、朝から何度も棚をのぞき、手に出来てほっとしましたが、何と云つても時間が掛かります。年長組の時は、私が席についた。心配していた程の事もなく、食事も上行きませんでした。男児八名、女児十名の組、手に運んでも、小さい為か仲々はかどります。でもたのしみにしていたおべん当です。せん。でもたのしみにしていたおべん当です。ので、一番嬉し相でした。一日の保育時間が永くなりますと、夢中で遊んでいたお子さんもふとした事から、「お家へ帰る」と云い出しますのは、まだまだ私の指導が足らない事と反省させられました。と同時にお母様の力に及ばないとは思い乍らも、幼ない丈に心に深く入っている親の愛情というものをしみじみ感じました。馴れてくると、色々の遊びの場にいた生活をして居たので、一寸した事でも泣いてしまいますが、三歳児丈に先生に持ち込む事が多いようでした。ある時私の云う通りに真衝突が起るようです。家庭で自分を中心にして居た生活をして居たので、一寸した事でも泣いてしまった。語氣の加減も同じように云います。私の事ばかり

でなく、交渉のあつた友達の云う事も口の中  
でつぶやいて居ました。これは癖かも知れま  
せんが、私には、何かこの時代のお子さんの生  
態である様な気が致します。家庭とはなれて、  
始めて見る社会に対しての、好奇心と、それ  
等を受取ろうとする姿だと思いました。お子  
さん達は口に出て云わなくとも、このよう  
な態度で、毎日登園するのであるならば、幼稚  
園の環境が如何に大事であるかをつくづく感  
じました。その環境の一つである先生（私）  
の態度は、考えれば考える丈慎重を要するも  
のと思ひます。まだ何色にも染まらない清ら  
かな白色を、個性のある色とりどりに染めて  
行く事は、大変な事であり、又楽しみのある  
ものとしてじみ感じました。

（東京・若葉会幼稚園）

### 御意見を

伺つて

堀合文子

今、諸先生の三歳児を保育しての種々の御  
体験を読ませていただきました。

じように考えました。先ず三歳児の心理学的  
にみた発達段階はどの程度であるかと書物を  
引き出して概観を書いておきました。

まだ母親のお乳から離れ切れないあの三歳  
児を幼稚園に迎えた先生方は皆このようにお  
感じになる事でしょう。小、中、高の先生方  
から幼稚園児を見たら、何と幼いとおもう如  
く幼稚園の中でも五歳児をみていた先生方は  
何と幼いと、これと同じ感をいただきます。

その幼い三歳児をあの団体生活に迎えた時

に、先ず考へる事は、先生方のように、如何  
にして迎えたらよいか、どのような環境を整  
えてむかえたらよいかという問題が一番先に  
考へる事でしよう。どうしたらよいかはその  
次でしよう。五歳児、四歳児を四月迎えるの  
とはやはりそこにならなければならぬ  
と思います。先生はこの事は必要ですが、もつともつ  
と言葉には言いつくせぬ態度といふものが是  
非必要であると考え、児童をどう扱う前に先  
ず外観だけでも三歳児に適した先生になって  
迎えてあげたい。これはとても大事な事だと  
思ひます。言わなくても解っているような事  
で仲々むずかしく又大切です。環境の一つと  
しての先生がやさしくにこにことおだやかな  
よき態度でむかえてあげれば幼稚園にも安定、  
感をはぐくもつででしょう。又むかえる時ばかり  
りであとはこわい顔をしていてはダメです

私の方でも数年前から一組独立して三年間  
保育をいたしており、私も昨年で二回経験い  
たしました。まだまだ経験も浅いのですが何  
かのお約にたてばと思ひ出してみましょう。

四月三歳児を迎るために私も先生方と同

じように考えました。先ず三歳児の心理学的  
にみた発達段階はどの程度であるかと書物を  
引き出して概観を書いておきました。

知の事と思います。

この二つが大きな目にみえぬ準備で、次は部屋の環境の事です。特別に、家庭との差がないように。でも学校形態の保育室ではやはり家庭とはちがいます。がその中でも黒い黒板には親しみのある絵をかいておくとか、まことに、遊具、カーテン、テーブル掛け等々すべて目にとまるものの色彩や大きさを三歳児むきにかわいらしく美しく又家庭と似た

よくな遊びをおくとか、まことに、遊具、カーテン、テーブル掛け等々すべて目にとまるものの色彩や大きさを三歳児むきにかわいらしく美しく又家庭と似た

よくな遊びをおくように考えなおしました。

遊具の数も人数より少し位少い程度でいつも

より多い目に用意しておきました。

以上の事は皆四歳児でも四月には考慮される事ですが又四歳児とはちがった、三歳児に適したという意味で更に考慮したのです。

この事が大きな準備で三歳児を迎えたわけです。

迎えてみると先生方の幼稚園と同じにいろいろの事件がおこりました。が、この一年の大きな目標は

○健康で幼稚園の団体生活に馴れ、友だちと仲よく遊べるように。

#### ○基本的習慣をつける。

この事だけです。その他の事は何も目標を持たませんでした。極端にいえば、先生は一年間よく遊んであげればよい。友だちとよくあそばせればよい。

これでよいと思います。但しこの遊びには子守のような態度ではない事はよく理解していただけだと思いますが。

三歳だから三歳なりの製作を、三歳児なりの歌をと考ります。それは三歳児なりの事は何事でも必要ですが、三歳児には製作、音楽リズム、お魚かき等々を指導するという四歳児や五歳児と同じような目的は、いっさい必要ありません。

四歳児も先生中心の時期ですが、三歳児はもっともと先生中心の時期で又必要な事です。幼児の遊びをより豊かにするために、先生は製作したり、音楽リズムをしたりして遊びましょう。又幼児も先生が作った玩具で遊ぶでしょう。

その時三歳の幼児は遊びとしてその一部へ参加するでしょう。それでよいと思います。次第に友だちと遊べるようじむけていくのですが、先生は友だちと遊んでいるからよい

わとか友だちへ遊んであげてとおしつけたか

らよいとすましていてはなりませんね。三歳児の先生は、よく遊んであげる先生でなければならぬと思います。もう大分遊べるようになつたからもうよいと離してしまった時期でもあります。その幼児の遊びの進度によつて、時にはリードして遊んでやつたり、時には三歳の友だちとなつて遊んでやつたり、

時には一緒に遊ばなくて側で遊んでいてあげるなど、その時々に適当な位置で先生は常によく遊んであげる事が大切です。

生活指導の方は基本的習慣がある程度できればよい。手洗を一人です。おべんとうを一人で食べる。衣服の脱着をある程度できる。

この三つが一年間できればよいので、又その場が特に三歳児は多いのですので、先生は仲間の世話を仲々大変です。くるくる動

で、その他世話を仲々大変です。くるくる動きまわって、世話をしなければ又遊ばなければ、又指導もしなければと三歳の先生はとて

も忙しい毎日です。先生が動く事により幼児はその中に何か得るものを持つので、四歳五歳でもそうですが、母親と同じなのです。

一年どうやら経つて三歳児の一年間がどういう意味があったか反省してみました。先ず四歳児に新しく入園して来た幼児との差を質問紙によってしらべてみました。

結果としては差は全然なく、基本的習慣の方はリードしてしまったが遊びや遊具の使用の種類の点はちっともちがいませんでした。で、私が考えたのは、これでよかつたと先ず安心したのです。ちょっと考えると幼稚園へいっている効果がどんなにあらわれなければと考えますが、家庭での一年の人と差のみえなかつた事は、私共が家庭的にと努力して來た結果だとうれしくなり、これで三歳児の保育はよいのではないかと考えました。

保育の効果はむしろ五歳児の時に現れるのでこれから将来がたのしみです。

×    ×    ×    ×    ×

これは私が経験した事より打出した事で、まだ研究しなければなりませんが、三年間すれば幼稚園それがするとも言われますが、決してそんな事ではなく、三歳児から教育

された人の方が種々な方面で深いよさがあるという事、人格的にもすぐれているという事は、今の私でも確信がもてると思ひます。

三歳児の保育がもっともっと研究され、理想的にされれば幼稚園教育もどんなにか徹

底できるでしょ。が、適した保育としなければ却つて逆効果にもなるので、私共はよくその点考えねばならないでしょ。

将来の何かの約に立てば幸甚です。

(お茶の水大付属幼稚園)

## 幼稚園 真 諦

B6 一四六頁 一八〇円 〒一六円

## 幼稚園 供 讀

B6 二三四頁 二六〇円 〒一六円

## フレーベルの教育学

A5 三五四頁 四〇〇円 〒四〇円

## フレーベルに還れ

A5 三三六頁 四五〇円 〒四〇円

## フレーベルの恩物の理論とその実際

A5 二九〇頁 二〇〇円 〒一六円

## 幼稚園お話を集(上・中・下)

A5 各二二〇頁 各二三〇円 〒一四円

## 幼児の教育内容とその指導

A5 二二八頁 二三〇円 〒三二円

## お茶の水女子大学附属幼稚園 児童教育研究会編

A5 各二二〇頁 二三〇円 〒一四円

## 栄養学の基礎から給食まで

A5 二一〇頁 二五〇円 〒一四円

## 武藤静子著 の宮殿

A5 二〇八頁 三〇〇円 〒二四円

株式会社 区5 代町 田2 千川 都小 京田 東神

## フレーベル館